

ふらんこ

静岡市 飯田北こども園

園長 杉山 真紀

静岡市の公立園である飯田北こども園は、静岡市の中心部より北東に一〇キロメートルほど、清水区石川本町に位置しています。開園自体は昭和二十九年と非常に古く、当初は清水市立飯田北保育所として開所し、その後、平成二十七年に静岡市の政策の一環としてこども園になりました。

取材当日、園の前に着くと、特徴のある非常にかわいらしい園舎が迎えてくれました。聞けばこの園舎のデザインは「アリスの杜」をイメージして建てられたとの事で、白と緑の



塗り分けを基調としたメルヘンチックな外観となっています。また全ての窓に斜めに飾りが入っていたり、時計台があったりと非常に凝ったデザインとなっています。



その後、園長の杉山真紀先生にお話を伺いました。現在の定員は百七十名です。

入園児に関しては、早朝から長時間保育の子どもさんが多いため、家庭を丸ごと園に移したような、子どもたちが安心して過ごせるように配慮しているとのこと。保育教諭の確保や配置には苦労されているとの事。

そして保育に関して大きな変化と言えば、平成二十七年よりこども園に変わった事です。

変化のあった点について杉山園長先生に聞くと「保育の内容については今まで通り丁寧に行っているが、子ども園になって保育士から保育教諭に変わったことにより、職員の間で意識も大きく変わったとの事で、職員間で日々の保育の中での教育の進め方をみんな確認しあったり、子どもの心に寄り添いながら教育的な部分を考えていくようにしている」と言うことでした。

また、園の玄関の壁には写真のように日々の活動の様子が模造紙に活動日毎にリアルタイムで、どんどん書き加えられており、保護者さんに対する情報発信等も積極的に行っている様子が伺え、私たち取材者にとっても大変参考になりました。

今回は年末のお忙しい中、快く取材をさせて頂きました。園長先生はじめ職員の皆様には心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

